



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日  
東

上場会社名 東光株式会社 上場取引所  
 コード番号 6801 URL http://www.toko.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川津原 茂  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)田口 康則 (TEL) (049)285-2511  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	7,745	11.5	685	62.3	606	66.5	477	42.1
25年12月期第1四半期	6,944	13.2	422	—	364	—	336	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △600百万円(—%) 25年12月期第1四半期 1,781百万円(502.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年12月期第1四半期	4	48	4	18
25年12月期第1四半期	3	15	2	94

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	47,188	—	22,293	—	46.8	—
25年12月期	49,265	—	23,224	—	46.7	—

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 22,084百万円 25年12月期 23,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年12月期	—	—	—	3.00	3.00	—
26年12月期	—	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	15,800	1.7	1,100	△26.1	900	△34.7	600	△49.6	5	62
通期	34,000	4.0	3,500	4.3	3,200	△1.6	2,400	△7.8	22	48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年12月期1Q	108,122,646株	25年12月期	108,122,646株
26年12月期1Q	1,395,057株	25年12月期	1,380,575株
26年12月期1Q	106,735,326株	25年12月期1Q	106,764,096株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9
4. 補足情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の事業環境は、米国においては景気が緩やかに回復しており、個人消費の基調は底堅いとみられます。一方、住宅市場では、中古・新築の販売が減少しており、調整色が強まっています。欧州地域においては、輸入の増勢を輸出が上回ったことから、純輸出の押し上げ幅が拡大し、景気は緩やかに持ち直しています。個人消費や総固定資本形成がプラス寄与を維持し、景況感指数も上昇していることから、景気の緩やかな持ち直しが続いているとみられます。アジア地域においては、中国は景気回復のペースが、依然として緩やかなものにとどまっています。一方で個人消費は景気の先行き不透明感があり当面様子見状態が続くと予測されます。

当グループの属する電子機器市場においては、スマートフォン市場は新興国を中心としたローカルブランドの台頭により、メーカー間での競争激化が見られ始めました。自動車市場においては、米国や日本での販売も好調であり全体的に堅調に推移、ノートパソコン市場では、新興国の需要低迷が続く中、先進国においてウィンドウズXPサポート終了に伴う特需が見られました。デジタルスチルカメラ等については、スマートフォンの普及に伴う市場浸食が続き、需要の低迷が続きました。

このような状況の中、当社はスマートフォン、タブレット向けのメタルアロイ®パワーインダクタDFECシリーズの拡大に注力し、車載市場向けにはLF受信アンテナコイル及びLF送信アンテナコイル等の商品を積極的に拡販活動してまいりました。売上高はこれら戦略商品の売上が拡大したことと為替影響もあり、前年同期比11.5%増の7,745百万円となりました。

(注)メタルアロイは東光株式会社の登録商標です。

収支面につきましては、低収益商品の縮小を図る一方、戦略商品の売上拡大と自動化による大幅な生産性改善を進めた結果、営業利益は685百万円(前年同期は422百万円)、経常利益は606百万円(前年同期は364百万円)、四半期純利益は477百万円(前年同期は336百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1. コイル応用商品部門

インダクタ、フィルタ等で構成されており、主として無線通信機器市場、車載機器市場、情報通信機器市場、AV機器市場に使用されています。スマートフォン及びハードディスク向けに戦略商品のメタルアロイ®パワーインダクタDFECシリーズの売上が拡大したことと、フェライトパワーインダクタや車載市場向けLF受信アンテナコイル等が増加し、売上高は前年同期比13.0%増の6,814百万円となりました。

#### 2. モジュール商品部門

LF送信アンテナモジュール、デジタルラジオ用モジュール、ワイヤレス電力伝送モジュール等で構成されており、主として車載機器市場及び無線通信機器市場に使用されています。TPMS用LF送信アンテナモジュールが増加し、売上高は前年同期比7.9%増の380百万円となりました。

#### 3. 固体商品部門

積層チップインダクタ、誘電体フィルタで構成されており、主として無線通信機器市場及び車載機器市場に使用されています。データ通信基地局向けの誘電体フィルタとゲーム機器向け積層チップパワーインダクタが増加したものの、圧電商品終息による減少、及びフューチャーフォン需要低迷による積層チップインダクタの減少等により、売上高は前年同期比2.1%減の550百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

総資産は、売上債権回収による減少、投資有価証券の時価下落等により、前連結会計年度末比2,077百万円減少の47,188百万円となりました。

(負債)

負債は、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末比1,146百万円減少の24,894百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益計上の一方、為替換算調整による減少、投資有価証券の時価下落等により、前連結会計年度末比930百万円減少の22,293百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月13日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,662	10,633
受取手形及び売掛金	7,422	6,351
商品及び製品	4,395	4,293
仕掛品	427	400
原材料及び貯蔵品	1,920	1,914
繰延税金資産	316	347
その他	1,410	1,328
貸倒引当金	△28	△24
流動資産合計	26,527	25,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,113	10,983
機械装置及び運搬具	32,427	31,828
工具、器具及び備品	5,520	5,515
土地	1,149	1,139
リース資産	417	417
建設仮勘定	824	1,204
減価償却累計額及び減損損失累計額	△32,412	△32,253
有形固定資産合計	19,040	18,836
無形固定資産		
361	361	369
投資その他の資産		
投資有価証券	2,504	2,041
繰延税金資産	138	133
その他	705	559
貸倒引当金	△11	-
投資その他の資産合計	3,336	2,735
固定資産合計	22,737	21,941
資産合計	49,265	47,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,166	2,604
短期借入金	5,781	6,883
リース債務	85	86
未払法人税等	419	274
繰延税金負債	24	-
賞与引当金	451	476
事業譲渡損失引当金	288	288
設備関係未払金	517	426
その他	2,044	1,732
流動負債合計	12,780	12,773
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,500	1,500
長期借入金	8,064	7,264
リース債務	126	104
繰延税金負債	755	619
退職給付引当金	2,183	2,156
役員退職慰労引当金	26	26
長期設備関係未払金	588	442
その他	16	7
固定負債合計	13,260	12,121
負債合計	26,041	24,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,446	17,446
資本剰余金	3,803	3,803
利益剰余金	2,309	2,466
自己株式	△460	△466
株主資本合計	23,097	23,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,144	822
為替換算調整勘定	△1,231	△1,987
その他の包括利益累計額合計	△87	△1,165
少数株主持分	213	208
純資産合計	23,224	22,293
負債純資産合計	49,265	47,188



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	6,944	7,745
売上原価	4,995	5,253
売上総利益	1,949	2,492
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	537	629
賞与引当金繰入額	93	124
退職給付費用	34	39
研究開発費	184	276
その他	676	736
販売費及び一般管理費合計	1,526	1,807
営業利益	422	685
営業外収益		
受取利息	6	3
持分法による投資利益	19	-
助成金収入	9	-
その他	18	30
営業外収益合計	53	34
営業外費用		
支払利息	50	52
為替差損	4	30
シンジケートローン手数料	31	-
支払補償費	-	7
その他	26	21
営業外費用合計	111	112
経常利益	364	606
特別利益		
固定資産売却益	49	0
投資有価証券売却益	52	-
特別利益合計	102	0
特別損失		
減損損失	-	1
特別損失合計	-	1
税金等調整前四半期純利益	466	606
法人税、住民税及び事業税	105	180
法人税等調整額	△2	△62
法人税等合計	103	118
少数株主損益調整前四半期純利益	363	487
少数株主利益	27	9
四半期純利益	336	477

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	363	487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133	△322
為替換算調整勘定	1,276	△765
持分法適用会社に対する持分相当額	7	-
その他の包括利益合計	1,418	△1,087
四半期包括利益	1,781	△600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,700	△600
少数株主に係る四半期包括利益	81	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (代表取締役および役員の異動に関するお知らせ)

当社は、平成26年4月18日開催の取締役会において、下記のとおり代表取締役および役員の異動について内定しました。

なお、本件は平成26年5月30日開催予定の臨時株主総会およびその後の取締役会の決議を経て正式に決定する予定であります。

## 1. 代表取締役の異動

## (1) 異動の理由

平成26年2月14日から平成26年3月18日まで実施された株式会社村田製作所による当社株式に対する公開買付けの成立に伴い、平成25年2月13日に同社と締結した資本業務提携の強化に関する合意書に基づき、同社が指名する取締役を選任するとともに、代表取締役を増員します。

## (2) 異動の内容

新役職名	氏名	現役職名
代表取締役会長	かわつはら しげる 川津原 茂	代表取締役社長
代表取締役社長	やまうち きみのり 山内 公則	

(注) 山内公則は、株式会社村田製作所 常任顧問であります。平成26年4月30日で退任し、平成26年5月1日に当社顧問に就任しております。

## (3) 新代表取締役社長の略歴

新役職名 代表取締役社長  
 氏名 山内 公則 (やまうち きみのり)  
 生年月日 昭和24年4月4日  
 職歴 昭和48年4月 株式会社村田製作所入社  
 平成9年10月 同可変商品部 部長  
 平成15年6月 同EMI商品統括部 統括部長  
 平成17年2月 同コンポーネント事業本部EMI事業部 事業部長  
 平成20年7月 同執行役員 コンポーネント事業本部 副本部長  
 平成21年7月 同常務執行役員 コンポーネント事業本部 本部長  
 平成24年7月 同常任顧問

所有株式数 0株

## 2. 取締役の異動

新役職名	氏名	現役職名
取締役執行役員	ささき としかず 佐々木 俊和	執行役員
取締役	まきの こうじ 牧野 孝次	
取締役	たけむら よしと 竹村 善人	
常務執行役員	みずの まさふみ 水野 雅文	取締役上席執行役員

- (注) 1. 牧野孝次氏および竹村善人氏は、社外取締役候補者であります。  
 2. 牧野孝次氏は、株式会社村田製作所 取締役上席常務執行役員であります。  
 3. 竹村善人氏は、株式会社村田製作所 取締役執行役員であります。  
 4. 取締役上席執行役員水野雅文は、平成26年5月30日開催予定の臨時株主総会終結の時をもって、取締役を辞任し、常務執行役員に就任予定であります。

## 3. 監査役の異動

新役職名	氏名	現役職名
監査役（非常勤）	なかやま もとひこ 中山 素彦	

- (注) 1. 中山素彦氏は、社外監査役候補者であります。  
2. 中山素彦氏は、株式会社村田製作所 常勤顧問であります。

## 4. 就任予定日

平成26年5月30日